

・人 広報



謹賀新年



組合員皆様のご健勝とご多幸を
お祈りいたします
本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます



1

月号

NO.675



新年あいさつ

伊達市農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 哲

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方にはご家族共々に新年を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年一年間、農協事業運営に対し、ご指導と御協力、ご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げる次第です。

さて、昨年を振り返りますとロシアによるウクライナ軍事侵攻やガザ地区の紛争に加えて円安などは農業に使う肥料、農薬、穀類、機械やその部品の大幅な値上げや供給不足を招き農産物生産コストは以前高止まりしています。そのような中、昨年の異常気象、特に7月から9月にかけての異常な高温はブロッコリー、キャベツ等の野菜、ビート、小豆の畑作物、乳牛、肉牛に壊滅的な被害を与えました。組合員のみなさんの心労を思い、役職員一同胸の痛む思いでした。国では新たな食料・農業・農村基本計画の中で食の

安全保障を踏まえ頻発する気象災害を注視し、様々な対策を実行しています。その対策が速やかに組合員のみなさんが活用できるよう努力してまいります。

また、農協が試験栽培しているサツマイモは昨年の高温に見事に適応し順調な収穫ができています。収益の上がる主力農産物になるように引き続き努力してまいります。

農協事業は今後厳しい状況が続くと思われます。信用事業、共済事業を含め販売、購買、営農事業等各農協事業は組合員にとって無くてはならない事業と考え、組合員さんの付託に答えられるように役職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも組合員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げますと共に、どうか新しい年が組合員の皆様にとって最良の年でありますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



謹賀新年



副組合長
松本 喬一



理 事
永田 聡



理 事
舟迫 昌光



理 事
唐澤 健康



理 事
上野 正人



理 事
原 一晴



理 事
近井 一夫



理事(学識経験)
上田 孝弘



理事(学識経験)
大友 敏幸



監 事
森田 浩行



監事(員外)
山崎 博司





謹 賀 新 年

伊達市農業協同組合

代表監事 菅 原 俊 和

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族と共に、穏やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。また、日頃よりの農協事業へのご協力、ご支援に感謝申し上げます。

さて、昨年は3年間続いた新型コロナウイルス感染症が落ち着き、世の中が通常の状態に戻るものと期待して始まったものの、蓋を開けてみると農業を取り巻く情勢はウクライナ紛争の長期化による肥料、燃料、資材等の値上がり、そして、気候変動が原因とも言われる夏場の早魃猛暑など、これまでに経験した事のない被害を受ける事になりました。自然相手の生業である農業で、日本中が被害を受ける状況は、前代未聞の事かも知れません。社会環境、自然環境どちらの面から見ても、農業がやり辛くなって来た様に感じられます。この様な状況から見ても今まで以上に組合員の皆様の営農活動にとって農協の果たすべき役割が益々重要になって来ると思います。組合員の皆様の負託に応えられる様に、役職員一丸となり、頑張る覚悟でいます。

ところで、伊達市農協の経営状況ですが、組合員の皆様のご協力と職員の頑張りにより、黒字決算になっていますが、各部門の連結による

収支でかろうじて、黒字になっている状況です。

ほぼ慢性的な赤字になっている生活事業と野菜販売事業は、中央会からの指摘事項になっています。監事会としても、今までと同様に重要課題として理事会に指摘を行っています。

生活事業は、当農協に於いては極めて重要な事業であり、続けて行かなければならない事業です。毎月皆さんのお手元に届いている5%の割引券の利用率も、4割程度という大変寂しい状態です。店舗の改善すべき問題点を指摘していただき、割引券の利用率を上げて頂く事も、事業の改善に大きく繋がります。宜しくお願い致します。

今年も、農業、農協を取り巻く状況は厳しいものになる事が予想されますが、農協事業へのより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、組合員の皆様にとって最良の年になる事をご祈念し、年頭のご挨拶と致します。





年頭のご挨拶

胆振農業改良普及センター

所 長 吉 田 忠

新年おめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては希望に満ちた新春を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。農業改良普及センターにおいても日頃より皆様のご理解とご協力を頂き、今年も無事に新たな年を迎えることができました。

令和5年を振り返ると新型コロナウイルス感染予防策が浸透し、社会活動の動きが平時に戻り始めたところでしたが、経験の無い猛暑の夏を迎え、且つ、秋の気温も高く推移する年となり、農畜産物の生産管理、収穫量が著しく影響を受けました。

また、国際情勢の影響を受けている農業資材等も高止まりとなり、農業経営には厳しい一年となりました。このような中で、皆様の努力の積み重ねによって一年を終えることができたことに対し敬意を表します。

さて、先にも触れましたが、令和5年の気象経過、農業生産の状況を振り返りますと融雪が早く、4月は好天に恵まれ作業は順調に進みその後の気温も平年より高く推移したことから作物の生育は平年よりも早く、秋まき小麦は前年を上回る収穫量となりました。

7月に入り気温が高く降水量は少なく推移したことから、葉菜類・果菜類・畑作物では病害虫による品質低下や収穫量に影響が現れ、米では生育阻害による品質低下が広くみられました。酪農では生乳出荷量の生産抑制に加え、暑熱の影響から計画を下回るとともに乳質への影響がみられ、肉用牛では市場価格の下落、乳用牛・肉用牛とも繁殖サイクルに影響を残す年となりました。

どの作目においても天候に大きく影響を受けた年だったと存じます。

このような中で、新たな生産振興策としてサツマイモ栽培取組が2年目となり、耕作戸数

耕作面積、出荷量が増え、新顔作物としての今後が益々期待されるところです。

これら農畜産物の生産、農業経営の安定を通じた地域振興に向け、私たち農業改良普及センターも微力ながら皆様のお役に立ちたいと考えております。

結びになりますが皆様にとって良い一年となりますようお祈り申し上げますと共に、本年が天候に恵まれ稔り多い一年となりますよう心からご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

昨年中は格別なるお引き立てを頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

尚、本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。 職員一同



登別支所

《事業推進室》

生活課

農機燃料自動車課

生産資材課

《購買部》

畜産課・営農指導課

生産販売課

《営農生産部》

共済課

金融課

《信用部》

総務課・審査課

《総務部》



令和6年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、一般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウィルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食べ物を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業

への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

JＡグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があります。行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年は、第31回ＪＡ北海道大会が開催されます。また、第30回ＪＡ北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のＪＡ北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、ＪＡグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、ＪＡグループが提唱する「国消国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



■ 女性部視察研修

12月1日(金)、JA伊達市女性部は石狩方面へ視察研修を実施しました。

部員15名が参加した今回の視察研修では、恵庭市のFOREX森産業株式会社にて育苗培土スミソイルの製造工程を見学した後、当別町に2023年8月にオープンしたロイズカカオ&チョコレートタウンを見学、チョコ作りのワークショップを行いました。

参加した部員は「FOREX森産業では普段何気なく使っている培土の製造を見学し、より興

味が湧きました。ロイズカカオ&チョコレートタウンでは体験型のゲームコーナーやチョコづくりが楽しく、もっと長時間見学したいほど有意義だった」と話していました。



ロイズカカオ&チョコレートタウンでの集合写真

■ マーガレット制作

12月12日(火)、JA伊達市女性部ホビークラブでは、「マーガレット」の制作を行いました。

マーガレットとはボレロに似た服で、腕を通す

部分のあるストールのようなものです。今回は寒い冬にも重宝できるフリース生地で制作しました。

参加した部員は「意外と簡単に短時間で出来上がり、仕上がりもよくとても暖かいので普段使いできそう!」と話していました。



製作のようす



完成したマーガレットを羽織って

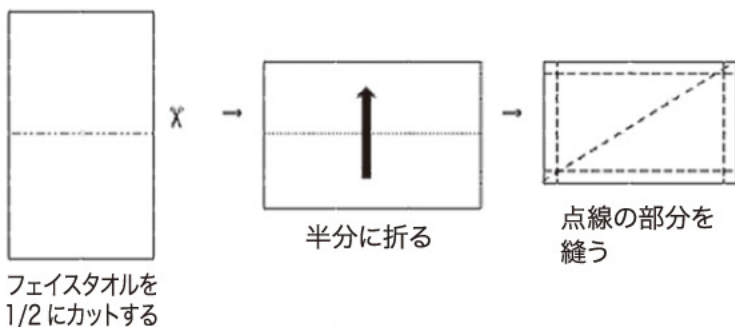
「布」または「ぞうきん」提供のおねがい

女性部では毎年、伊達市教育委員会を通じ市内の小中学校へ手縫いぞうきんを寄贈しております。今後もこの活動を継続していく思いはありますが、原料となる布が不足しています。

ご自宅に不要となりましたフェイスタオルや古布また、手縫いのぞうきんその物の提供の

ご協力をお願い致します。

皆様も当農協女性部と共に、地域貢献活動として賛同して頂き、市内の学びの場へ温かいお気持ちと共に届けようと思います。



■ 各野菜部会の定期総会開催

12月11日(月)、伊達市農協野菜生産部会協議会及び各部会の定期総会がホテルローヤルにて開催されました。

今年度は施設、露地栽培問わずほぼ全ての作物において高温や干ばつ、病害虫による被害の影響を受けたこともあり、前年対比で出荷量89%、販売金額88%と、共に計画を下回る結果となりました。

次年度においては、関係機関とより一層連携を図り最新の情報提供や栽培講習会を行い技術の向上や問題解決に向けて取り組むと共に、全体の底上げを図り、物量の確保と有利販売を進めていくとしました。



定期総会のようす

代表者の顔ぶれ



野菜
生産部会
協議会



広瀬 匡 聡 協議会長

湘南野菜・
ほうれん草
部会



大 滝 真 部会長

カリフラワー・
ブロッコリー
部会



山 本 健 市 部会長

南瓜部会



白 石 浩 一 部会長

レタス・
セルリー
部会



荒 慎 一 部会長

長葱部会



佐 渡 伸 幸 部会長

スイートコーン
部会



太 田 悟 部会長

玉菜・白菜
部会



中 野 定 徳 部会長

早出し
馬鈴薯
部会



小 西 栄 司 部会長

トマト部会



永 田 克 彦 部会長



■ 役職員コンプライアンス研修

12月6日(水)、役職員向けコンプライアンス研修会をJA伊達市本所にて実施しました。

JA北海道中央会より太田湧一郎氏を講師としてお招きし、過去10年におけるJA北海道全体の不祥事件発生件数や発生傾向、「不祥事を起こさない」「不祥事を見つける」「不祥事に対して適切に対応する」ことを目指した不祥事ゼロ運動の取り組み、個人情報漏えい防止等の防止などについての説明がありました。

各JAではコンプライアンス・プログラムを策定・実践し不祥事ゼロ運動へ取り組んで参ります。



研修会のようす

■ 農事組合長会議

12月18日(月)、農事組合長会議がJA伊達市本所にて開催されました。

各地区の連絡協議会会長及び農事組合長が集まり、佐藤哲組合長、堀井敬太市長、吉田忠普及センター所長らの挨拶の後、令和5年度の農協事業推移や決算見込み、サツマイモ栽培の実績などが報告された他、第8次農業振興計画課題に対する取り組み及び評価や第9次農業振興計画の概要についても報告されました。



会議のようす

地区別組合員懇談会日程

令和6年1月9日(火)～13日(土)

※10日(水)を除く

日	時	地 区	会 場
9日(火)	10:00～	黄金・室蘭地区	は ま な す 館
	13:30～	東 地 区	未 来 館
11日(木)	10:00～	稀 府 地 区	中 稀 府 会 館
	14:00～	登 別 地 区	登 別 支 所 2 F
12日(金)	10:00～	中 央 地 区	本 事 務 所 2 F 会 議 室
	13:30～	関 内 地 区	関 内 福 祉 会 館
13日(土)	10:00～	有 珠 地 区	白 鳥 館
	13:30～	長 和 地 区	ふ れ あ い 館

令和5年産うるち米(等級品)共計に係る概算金単価表(当初契約対象品種)

〈60 kg袋単価〉

(単位：円)

共 計	品 種	品 位	概 算 金			
			特上・特等	1 等	2 等	3 等
うるち米	ななつぼし	低 蛋 白 米		13,000	11,500	10,500
		一 般 米		12,500		
		仕 分 8		12,500		
		仕 分 9		12,500		
	ほしのゆめ	低 蛋 白 米		13,000	11,500	10,500
		一 般 米		12,500		
		仕 分 9		12,500		
	きたくりん	低 蛋 白 米		12,900	11,400	10,400
		一 般 米		12,400		
		仕 分 9		12,400		
	きらら 397	一 般 米		12,000	11,000	10,000
		仕 分 9		12,000		
	おぼろづき	第 1 区 分		12,500	11,300	10,300
		第 2 区 分		12,300		
	えみまる	一 般 米		12,400	11,400	10,400
		仕 分 9		12,400		
	あやひめ・ゆきひかり			12,500	11,500	10,500
	大地の星・そらゆき			11,500	10,500	9,500
	ゆめぴりか	第 1 区 分 S		14,100	11,000	10,000
		第 1 区 分		13,600		
		第 2 区 分		12,400		
		第 3 区 分		12,000		
	ふっくりんこ	基 準 品		12,700	11,000	10,000
		基 準 外 A1		12,400		
		基 準 外 A2		12,200		
		基 準 外 B		12,000		
酒造好適米	吟 風 彗 星 きたしずく	〈第一区分〉一般米	13,770	13,500	11,500	10,500
		低 蛋 白 米	14,310	14,040		
		〈第二区分〉一般米	12,270	12,000	10,000	9,000
		低 蛋 白 米	12,810	12,540		
		〈第三区分〉一般米	10,270	10,000	8,000	7,000
		低 蛋 白 米	10,810	10,540		

※播種前契約・加算契約を締結した米穀についても、一般共計品と同単価。

令和5年産加工用うるち米全道共計概算金単価表

単位：円／量目（税込）

包 装 袋	1 等	2 等	3 等
60 kg	8,300	7,300	6,300
30 kg	4,150	3,650	3,150
1020 kg	141,100	124,100	107,100
1 kgバラ(参考)	138.33	121.66	105.00

令和5年産飼料用米 全道共計概算金単価表

単位：円／量目（税込）

包 装 袋	合 格 品
60 kg	1,800
1 kgバラ	30.00

農産係からのお知らせ

精米業務

令和6年1月～8月末まで

土・日・祝日→休業いたします。

皆様のご理解ご協力をお願い致します。

○お問い合わせ先

生産販売課農産係(麦乾施設)

TEL0142-23-2458



令和5年度 年始営業日程

令和6年1月1日(月)～令和6年1月9日(火)



		1/ 1(月)	1/ 2(火)	1/ 3(水)	1/ 4(木)	1/ 5(金)	1/ 6(土)	1/ 7(日)	1/ 8(月)	1/ 9(火)
本所	共 済	×	×	×	×	8:30～ 17:15	×	×	×	
	貯 金 窓 口	×	×	×		8:30～ 17:15	×	×	×	
	A T M	×	×	×		8:30～ 17:00	×	×	×	
	登別支所 A T M	×	×	×	×	×	×	×	×	
全業 務平 常 営 業	クミカ ン 窓 口	×	×	×	×	×	×	×	×	
	グリー ン セン ター	×	×	×	×	×	○	×	×	
	機 械 センター	×	×	×	×	×	○	×	×	
	マーケ ット	×	×	9:30～ 17:00		○	○	○	○	
	授 精 生乳検 査	○	○	○	○	○	○	○	○	
	麦乾施設 精 米	×	×	×	×	×	×	×	×	

未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.75

令和5年度第1回期成会役員会

12月8日(金)に期成会役員会を開催しました。

今回の役員会では、事前負担金に関する規程の制定のほか、工事年度の圃場耕作者へ交付される農業経営高度化促進事業交付金(促進費)の交付対象者や面積の考え方について再整理をした内容の審議を行いました。

また、令和6年度の設計箇所や年次別工事予定箇所、農地改良促進制度、工事に伴い設置される畑の農業用排水路の所有者に関する基本的な考え方についての報告を行いました。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地

再編整備事業促進期成会事務局

(伊達市 経済環境部 農地整備課内)

TEL0142-82-6161 (直通)



発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

